

政府の再エネ政策に従ってこのまま森を伐り続けたら

日本がなくなっちゃうんじゃないの

～再エネ発電から日本の森を守ろう～

2024年10月 日本熊森協会本部

〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4 電話 0798-22-4190

何よりも大切なのは水源の森

大震災大津波で何もかも失った東北ですが、森が残りました。まだ森が残っている！残された森が希望でした。森さえあれば清らかで滋養豊かな水がいつでも手に入ります。元々、日本人は、稲作漁撈で生きてきた民族です。

再エネは、国内外の投資家に日本国民のお金が行くしくみ

今の再エネは、毎月の電気料金に付加されている私たち国民の再エネ賦課金が、国内外の投資家たちに流れる仕組みです。水源地と電気を外国に押さえられたら私たちは抵抗できない。再エネ業界とつながる議員は落としましょう。

再エネは火力発電よりも化石燃料を浪費する

再エネ電気は絶えず発電量が変化しますから、バックアップ電源としていつも横で無駄に石油やガスを燃やしておかねばなりません。トータルで見ると再エネ発電は火力発電以上にずっと多くの化石燃料を使うことになるそうです。

再エネするなら都市で

たった20年間の発電のために、東北や北海道の豊かな森や海を破壊して、大量の送電ロスを覚悟で東京に電気を送る。大人の考えることでしょうか。

クマたち森の生き物に慈悲の心を

戦後の林野庁の拡大造林政策で山にスギやヒノキばかり植えたため、クマを初めとする森の動物たちが生きられなくなっています。最近では急激な温暖化も加わって、日本の森は大荒廃。クマたちが餌を求めて山から出てきたら、増え過ぎたことにして駆除するだけ。こんな無慈悲な日本人でいいのでしょうか。

林業に使えない奥山のスギ、ヒノキの人工林は天然林にもどすべきです。動物を殺さない祖先の文明を取り戻すべきです。他生物にも優しい文明が一番優れており、唯一持続可能な文明です。

きれいな言葉にだまされない

自然エネルギーと言いますが、メガソーラー、風車などの発電設備は工業製品の塊です。再生可能エネルギーと言いますが、一度使ったエネルギーを再生させることなどできません。美しい言葉にだまされないようにしましょう。

●国を動かすために、共に大きな欧米並みの自然保護勢力を日本にも作りませんか。ご賛同いただける方は、ぜひ、ご連絡下さい。contact@kumamori.org